

●全日本選手権シリーズ第10戦

'80ロードレース 日本GP

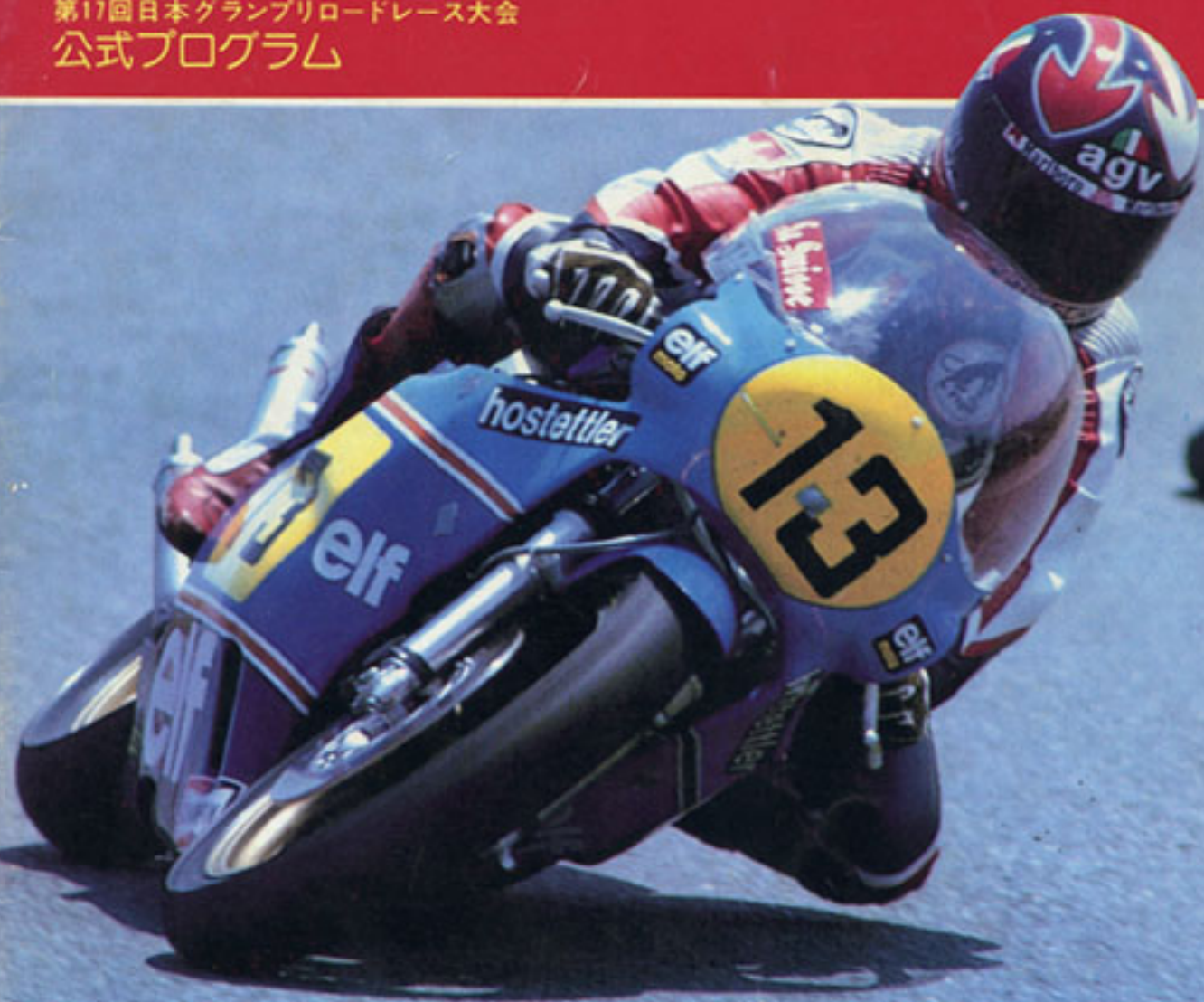
★9月13日土～14日日

★会場：鈴鹿サーキット

★主催：日本モーターサイクル協会(MFJ)

★後援：文部省・三重県・鈴鹿市

第17回日本グランプリロードレース大会
公式プログラム



●9月14日15時20分スタート●17周

第8レース

国際A級350cc/750ccクラス

●これまでの最高ラップ記録(国際A級350cc) 2分17秒56(54年9月9日、日本GP、酒井清孝選手) (国際A級750cc) 2分14秒05(54年9月9日、日本GP、金谷秀夫選手)

クラス	ゼッケン	ライダー	年齢	県名	クラブ	車名(ネーミング)/銘柄・型式
国際A級350cc	22	齊藤 三夫	25	茨城	BIG BOY	タカハシタイヤSP/Y-TZ350F
	44	高橋 力	24	神奈川	チームファントム	Y-TZ350
	56	辻 司		東京		YUZOスペシャル/Y-TZ350
	62	平 忠彦	23	埼玉	埼玉イナレーシングチーム	Y-TZ350
	63	福嶋 秀彦	23	千葉	チーム勲斗雲	飯屋ヤマハ/Y-TZ350
	66	酒井 博章	29	福岡	個人	Y-TZ-350/Y-TZ
	70	吉村 俊	25	埼玉	ブルーヘルメットMSC	Y-TZ350
	71	山川 宏守	27	愛知	個人	Y-TZ350
	81	高橋 清志	26	神奈川	小田原キャッスルR	Y-TZ350
	82	長瀬 幸夫	29	千葉	野田ジュニアレーシングC	Y-TZ350
	85	藤山 泰利	23	兵庫	チームカナヤ	SEKIMIZU SPECIAL/Y-TZ-350
	89	和歌山 利	26	静岡	特田レーシングファミリー	Y-TZ350
	90	黒田 博	23	愛知	チームロードボーイズ	Y-TZ350
	93	徳野 博	26	大阪	浜寺レーシングチーム	Y-TZ350
	95	草間 義	26	茨城	アトムライダーズ	ウランSP/Y-TZ350
	107	大橋 治	23	千葉	チーム勲斗雲	カラオケ義雄/Y-TZ350
	108	橋本 義	23	三重	チームバルチ	Dr.スラップSRTZ/H-TZ350
	国際A級750cc	1	水谷 勝	30	愛知	東海スポーツライダーズ
2		金谷 秀夫	35	兵庫	チームカナヤ	Y-TZ500
3		高井 良次郎	33	愛知	ブレイメイトレーシングチーム	Y-TZ500
5		毛利 一宏	30	兵庫	チームカナヤ	SEKIMIZU SPECIAL/Y-TZ500
6		和田 正裕	34	大阪	マックウエスタン	S-RG500
7		河崎 裕之	34	愛知	マウンテンライダーズ	RGB500/S-RGB
11		鈴木 修	26	愛知	ブレイメイトRT	プロショップ高井スペシャル/Y-TZ500
15		杉本 五十洋	32	東京都	マックウエスタン	マックバルボリン2号/Y-TZ500
18		石川 真一	24	東京都	レーシングスポーツ	Y-TZ500
20		上野 治	28	東京都	レーシングスポーツ	Y-TZ500
23		岩崎 雅	30	静岡	浜松チームタイタン	RGB-500/S-RG500
27		種崎 雅	31	京都	フライングドルフィン	Y-TZ500
35		佐藤 順	27	愛知	ブレイメイトレーシングC	Y-TZ750
36		根本 健	32	東京都	フライングドルフィン	Y-TZ500
60		芳賀 信	24	神奈川		TZ500
75		張井 清	27	大阪		SRC-400R/H-CB400F
86		酒井 巧	24	大分	SRT	S-RG500
88		伊藤 巧	23	三重	スーパードモンキー	南海部品RG/S-RG500
98	渡辺 富士	30	大阪	D-I-Cレーシングチーム	DICスペシャルKR750/K-KR750	
100	吉見 卓	21	京都	マックウエスタン	ウエスタンボリン号/スズキRG500	
120	福井 正		大阪	チームスーパードモンキー	スーパードモンキーSP1000/H-CB750	

(車名欄: H=ホンダ、Y=ヤマハ、S=スズキ、K=カワサキ)



大月ヤマハスポーツショップ



★大月ヤマハのセールスポイント★

①御支払いはヤマハらくらくクレジットで!

②全国どこでも1週間で急送します。

③未成年の方は親の代理購入になります。

④クレジットの申し込みはTELでどうぞ。

⑤アフターサービス万全の当店へ!

本店 江戸川区東小松川4-40-8 ☎(056)5415 本店 東京都墨田区海国3-5-6 ☎(63)5403 行徳店 市川市新浜1-1-4 ☎(0473)965402
 ☎(056)5485 高松店 松本市富士野台1-12-1 ☎(5474)645223

燃えるドラマのヒーローたち
栄光は誰の手に!!

国際A級クラス



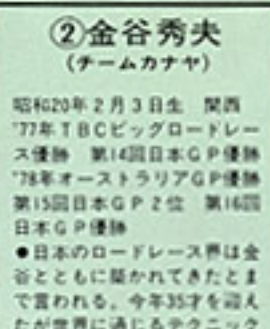
①水谷 勝
 (東海スポーツライダース)

昭和24年10月27日生 中部
 '77年全日本選手権第6戦350優勝 '79年同第6戦優勝第16回日本GP 2位、同年全日本チャンピオン
 ●国内中型ライダーの1人。昨年から750に乗りはじめたが、1年目にしてラッキーなチャンピオンとなった。今シーズンはゼッケン①をつけ賞戦中、まだ1勝しかあげていないが上位に顔をみせる。物静かな風貌から憂鬱な走りファンをつかんでいる。今大会ではチャンピオンの意地を見せるだろう。



⑤毛利良一
 (チームカナヤ)

昭和24年10月31日生 関西
 '72年全日本ジュニア125チャンピオン 第11回日本GP 350優勝 '76年全日本350ccチャンピオン '77年全日本350ccランキング3位 '78年全日本750ランキング4位 '79年同6位 '80年全日本第2戦優勝同第6戦優勝
 ●10年以上のキャリアを持つベテランライダー。アクシデントが多く、実力を十分に生かせなかった。今シーズンは2度の優勝を喫し、初の750全日本チャンピオンを狙う位置にいる。



②金谷秀夫
 (チームカナヤ)

昭和20年2月3日生 関西
 '77年TBCビッグロードレース優勝 第14回日本GP優勝 '78年オーストラリアGP優勝 第15回日本GP 2位 第16回日本GP優勝
 ●日本のロードレース界は金谷とともに盛られてきたとまで言われる。今年35才を迎えたが世界に通じるテクニックと走りは衰えることを知らない。ヤマハファクトリーとしてマシン開発にあたる一方、チームカナヤの会長として若手の指導に余念がない。今大会では日本GP 2連覇を狙う。



⑦河崎裕之
 (マウンテンライダース)

昭和20年10月31日生 中部
 '78年全日本選手権第1戦優勝 第3戦優勝 第5戦優勝 第6戦優勝 '79年同第2戦優勝 '79年世界GP第2戦5位 第16回日本GP 3位
 ●表面的な優勝回数が少ないのは、いつも750に500で走るからである。その腕前はスズキファクトリーの主軸として高く評価される。「シャケさん」のアド名で人気があり、身長180センチの巨体はレース場のふん固気を盛りだてて、日本GPには、なくてはならないライダーの1人。



③高井幾次郎
 (プレイメイトレーシングチーム)

昭和22年2月16日生 中部
 '74年全日本チャンピオン 第13回日本GP優勝 '76年全日本チャンピオン 第15回日本GP優勝 '79年世界GP第9戦8位
 ●現役ライダーの中では最古参であるが、そのライディングテクニックはヤングライダーの憧れである。海外遠征も多く、ライダー間では「イクさん」の愛称で人気を持つヤマハファクトリーの主軸騎手ライダーだ。最近ではショップの経営やウェア類の開発でも知られる。



⑨阿部孝夫
 (チームRSC)

昭和23年4月10日生 中部
 '72年スズキ社員ライダーとしてレース界にデビュー '73年鈴鹿耐久レース優勝 '75年カワサキへ移籍 '79年ホンダRSCへ移籍 '79年全日本第6戦250優勝 '80年世界選手権第5戦鈴鹿8時間耐久5位
 ●落ちついたレース運びと安定した走りは、日本トップライダーの名にふさわしいものを持つ。スズキ、カワサキを経てホンダRSC所属となる。鈴鹿8時間耐久では木山とコンビを組み、華麗なテクニックを披露してくれた。

グランプリの栄光をめざすトップライダーの熱い走りは、キミたちをエキサイトさせずにはおかない。彼らこそ、日本を代表するライダー、自然のドラマの立役者なのだ。(数字はゼッケンナンバー)